

新殺ダニ剤によるカンキツのミカンハダニの防除

薬剤抵抗性の発達などで有効に使用できる殺ダニ剤が少ない中で、コロマイト水和剤とバロックフロアブル（ともに2,000倍）がミカンハダニの防除剤として新たに登録された。

コロマイト水和剤は放線菌生産物のミルベメクチン2%を含有する新しいタイプの殺ダニ剤で、ミカンハダニの成虫、幼若虫、卵のいずれの発育態に対しても殺虫効果が高く、また、致死濃度以下でも雌成虫に対し産卵抑制効果がある。

バロックフロアブルは新規化合物エトキサゾール10%を含有する薬剤で、殺卵、殺幼若虫効果に優れている。殺成虫効果はないが、被薬した成虫の産下卵のふ化を阻害すると言われている。

両薬剤とも各種薬剤に抵抗性が発達したハダニに対しても有効である（図1、2）。供試ハダニはサンマイト水和剤やダニトロンフロアブル等に対して感受性が低下している個体群である。コロマイト水和剤はいずれの時期においても速効性、残効性ともに優れ、高い防除効果がある（図1）。バロックフロア

ブルは速効性はやや劣るが、残効性は顕著であり、防除効果が高い（図2）。ただし、殺成虫力がないために低温時期には散布直後の密度低下に時間がかかる例が多い。

いずれの薬剤も抵抗性が発達しないようにハダニの発生初期の防除に努め、年1回の使用を厳守する必要がある。

なお、現在、抵抗性ハダニの防除対策として、殺ダニ活性のある界面活性剤（展着剤）や物理的防除剤の探索とこれら薬剤と新規殺ダニ剤等を組み合わせた効率的な防除法について検討しているところである。

（虫害班 主任研究員 大政義久）

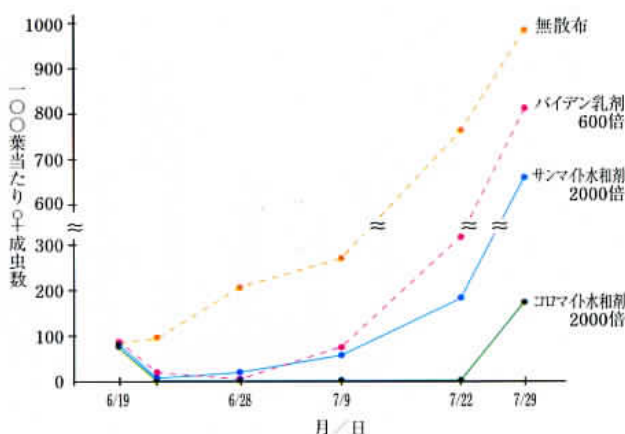


図1 ミカンハダニに対するコロマイト水和剤の防除効果（温州ミカン、平成7年）

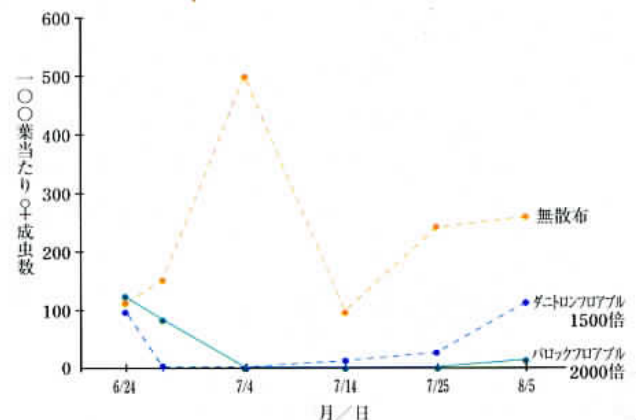


図2 ミカンハダニに対するバロックフロアブルの防除効果（宮内伊予柑、平成9年）

編集発行 愛媛県立果樹試験場
〒791-0112
松山市下伊台町1618
TEL 089-977-2100
FAX 089-977-2100